

「こんなにも悲しくてこわい事はもうおきてはいけません」

ピースツアー・ピースアクション報告

パルコープでは毎年、「平和の大切さ」「被ばく体験を風化させず、次世代へ伝える」ためピースツアーを行なっています。今年も、被爆地ヒロシマ・ナガサキを訪れ、原爆のつめあとや平和資料館を見学し、平和の式典に参加しました。



原爆ドームの前で（広島）

ヒロシマツアー

8月4日～6日 19名参加

私が心に残ったのは、大久野島で作られた毒ガスについてです。

私は日本がされた事は知っているけど、した事は知らなかったで日本で毒ガスが作られたと聞いてとてもおどろきました。毒ガスで苦しんだ人やなくなれた人がとてもかわいそうでした。でも、その毒ガスの実験でウサギがつかわれていたこともとてもおどろきました。

こんなおそろしい事が71年前におこっていたことと思うとしんじられません。でもまだこの日本にもその作った毒ガスがたくさんあるということなので、とてもこわいです。

にどと戦争がおこらないようにするには、人々がやさしくすることだと思います。こんなにもかなしくて、こわい事はもうおきてはいけません。

これから私たちはこの平和を守りつづけたいと強く思いました。平和は大切だとあらためて強く思いました。（寝屋川市 杉浦さん・小5）



◀大久野島の戦争遺跡のひとつ「毒ガス貯蔵庫跡」で平和ガイドのお話を聞く



ナガサキツアー

8月7日～9日 9名参加

私の母の兄弟も戦争でたくさんのケガや戦死したことを聞いていましたが、資料館での映像や写真、原爆のつめあと、自分の目で見て聞いて、本当のおそろしさを知ったように思います。娘達も戦争のことを他人事のように思っていたようで「自分の身にこんなことがおきたら…」と顔をこぼらせていました。親子で参加させていただき、とても勉強になりました。（鶴見区 M・Kさん）

長崎では、広島とちがうげんぱくを知ったり、時間を知ったり、2泊3日でとても勉強になりました。平和の像がすごかった。世界から送られてきた平和の愛がすごくよかった。（四條畷市 伊藤さん・9歳）



原爆で犠牲になった人の名簿が納められている「原爆殉難者名奉安所」



広島での日生協主催「ピースアクション」に今年もパルコープから組合員活動委員会メンバー9名が参加しました。



ピースアクションin広島イベントでは、他生協の方とお話したり展示物からヒントをもらいました。（パルコープ組合員の）みんなから預かった”手作りプレスレッド”は大好評で、会場の方に想いを伝えることができました。ステージでは被爆者の生の声を聞くこともできました。

（寝屋川北地域活動委員会 門本さん）



平和を守る募金にご協力をお願いします

「ピースツアー」「ピースアクション」や地域の平和のとりくみなどに使わせていただきます。募金は注文書の6ヶタ注文欄に「001418」と金額を記入ください。eフレンドでも募金できます。



岩手から関西のみなさんへメッセージ

陸前高田市観光物産協会副会長・

語り部 實吉義正さん



8月14日の夜、今年も気仙川河畔上空は4000発以上の花火によって色彩られた。私達は震災前10年に渡って、今は失われてしまった高田松原花火大会に関わった。多くの市民が感動した花火を松原を失っても途絶えさせる訳には…との思いを共有する有志で震災の翌年から続けている。このイベントにはおおさかパルコープさんから大きく、力強い支援が続けられています。

犠牲者の冥福と復興祈願を標榜する花火に人々は様々な想いを託す。胸の前に両手を組み、目に涙を浮かべながら夜空を見上げる人の姿を今年も多く見かけた。打ち上げられる彩り豊かな“花、花、花”。それは大切な人を失った人達には、仏の供養にまき散らす散華を見る思いなのか。頬に伝う涙に映える花火は、今年も美しかった。



NO.80

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

今年も復興応援の学生ボランティア（延48名）を遠野山里暮らしネットワークで受入れをさせていただきました。一回生は震災当時、小学6年生だった方もおられました。

今年は「災害復興公営住宅」での昼食交流会を初めて開催。各地の仮設住宅からようやく移られた方々の新しいコミュニティづくりの“きっかけづくり”になればと、山里ネットでパルコープや、民間団体からの助成を受けて昨年の秋から始めています。集われた住民は、学生の祖父母の年齢の方が殆どで、自然と“孫に教え・伝えるよう”と震災の辛さだけでなく、郷土の自慢話などの話に盛り上がりしました。

学生からは「社会人になると制約されることが多いけど、観光にまた来る」や「生協サークルに属しているので、被災地商品の紹介をしたい」。また「ボランティアがきっかけで被災地で就職が決まった」など、“忘れない”という意味と“次につなげる行動”を考えておられる姿に今年も励まされました。

（岩手県遠野市に常駐する

パルコープボランティア事務局・林さんより）



ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況（2016年3月21日～2016年8月20日）
18,649,613円（この金額には2015年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます）

岩手県・北海道台風被害支援募金にご協力ください！

8月19日に発生した台風10号はかつてない動きで、観測史上初めて岩手県に上陸し、大きな被害を与えました。また、北海道は、3つの台風が上陸し、台風10号でも大きな被害となりました。

パルコープ・よどがわ生協では、緊急募金にとりくみます。

※詳しくは、今週配布の別チラシをご覧ください。

～2016年 岩手 職員被災地支援研修～

職員も引き続き、被災地に寄り添って活動しています。



▲いわて生協の配送担当の方と（第1回）

◀仮設住宅でふれあいサロン「たこ焼き作り」（第2回）

私の中でもとても印象に残っているのが、いわて生協の理事の方のお話でした。被災された時の話ができるように、傷の深さを再認識しました。中でも「私は途中で心が壊れていた」と…。とにかく助けなければという一心で危険を顧みず動こうとしていた時に「あなたにまで何かあったら何も支援が機能しなくなる」と怒られ、ハッとしたとおっしゃっていました。「そこで私がしつかりしないと思っ」と聞いて本当にすごいなと思いました。

第1回 5/25日(水)～29日(日)

中原さん・平野支所
永安さん・都島支所
松田さん・平野支所

仁波さん・北枚方支所
杉さん・教育

第2回 7/11日(月)～15日(金)

河野さん・鶴見支所
清原さん・港支所
山西さん・港支所
西野さん・内定者

兼森さん・内定者
瀬津さん・内定者
宮部さん・事業支援本部・教育

第3回 7/20日(水)～24日(日)

笹木さん・コープきんき

※所属は現在のものです ※上記以降も来年3月まで実施予定

ずっとボラの会（東北応援バス参加者の有志の会）よりお知らせ！

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場
10月2日(日)	東中浜店
10月23日(日)	城北公園
10月31日(月)	つるみ店
11月6日(日)	守口市民まつり
12月4日(日)	西くずは店

時間はいずれも10時～15時です。

パルコープの店舗一覧はこちら。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎ながお店（9月4日）売上げ50,170円と募金5,149円

募金の方法

募金記入例



期間：10月2回～11月2回

共同購入（班配・個配）では、OCR注文書「募金カンパ」欄1417で

募金カンパ欄1417に個数をご記入ください。

1と記入すると100円の募金となります（100円単位）

※東北応援に関する情報はホームページでも見ることができます。<http://www.palcoop.or.jp/shinsai/higasinihon/>